

## 教材・支援機器活用実践事例

### 【自分の力でスイッチを操作し、係活動に取り組むための支援教材】

	実施年度	平成30年度
授業について	教科名等	特別活動
	単元・題材名	スイッチで水をまこう／スイッチで洗浄液を補充しよう
	授業における教師のねらい	①手指を動かすという自分からできる動きを引き出すー「身体の動き」(1) (2) ②スイッチを入れ、ポンプが水(洗浄液)を吸い上げたり、給水口から水(洗浄液)が出たりすることに気づき、周囲の様子に視線を向ける力を育むー「環境の把握」(1)「コミュニケーション」(1)
	授業における子どもの目標	①教師の言葉かけに応じて手指を動かし、スイッチを入れることができる。 ②スイッチを入れると、ポンプの給水口から水(洗浄液)が出ることに気づき、顔の筋肉を動かしたり、身体を動かしたりして反応することができる。
子どもについて	学校・学級・学年	特別支援学校・重複障がい学級・高等部3学年
	対象の障がい	知的障がい 肢体不自由
	授業形態	個別指導
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のときは姿勢保持いすで活動することが多い。</li> <li>・両腕や指を動かしたり、言葉かけに応じて体を動かしたりする様子などが見られる。</li> <li>・提示されたものを目で追ったり、音を聞いて顔の筋肉を動かしたりするなど、視覚、聴覚の反応がある。</li> </ul>
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	名称:「散水・補給スイッチ」 ①灯油ポンプ(自動停止機能付き) (ホームセンターで購入) ②大きな押しボタンスイッチ ③導線(ホームセンターで購入)
	活用のねらい	・本生徒の力で押しボタンを押して、スイッチを入れたり、補充容器の適量や教師の言葉かけに応じて、スイッチを切ったりすることができる。
授業における支援 ・教材の配慮事項		・手で接する面を広くして、スイッチ操作がしやすくなるように、大きな押しボタンスイッチを使用した。ゆっくりと補充できるように吸上量と排水量の大きくない灯油ポンプを使用した。
子どもの変容や評価		・ボタンを押すことで、水(洗浄液)がポンプで吸い上げられ、給水口から排出されるのを目で追う姿がある。補充容器の適量でスイッチを切ることができるようにするためには、活動の仕方や補充容器等の工夫が必要であるが、本生徒は、給水口から排出される水(洗浄液)の様子に目を向けるなど、関心を示すようになった。



